

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2015年7月28日（火）

第519号☆ 本号2分

## 戦争法案 全国の総決起で必ず廃案へ 野音集会・国会請願デモ に1万5000人！！

参議院・我が国及び国際社会の平和安全法制に関する特別委員会の本格審議が開始された7月28日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会の呼びかけで、「強行採決許すな！戦争法案廃案へ！7・28大集会」が開かれました。蒸し暑い日比谷野外音楽堂に1万5000人が結集。会場は18時すぎには入場をストップ、音楽堂周辺を人垣が取り巻きました。

18時30分開会の集会には政党から、枝野幸男民主党幹事長、小池晃日本共産党副委員長、吉田忠智社民党党首、主濱了生活の党と山本太郎となかまたち副代表がそれぞれの党を代表してあいさつしました。各党からは日本共産党の8人をはじめ議員が参加しました。神田香織、小山内美江子、池田亮子（「安保関連法案に反対するママの会」代表）らの各氏が連帯発言、憲法共同センターの小田川義和全労連議長が行動提起をおこないました。

18時40分に出発した国会請願デモは21時前まで続き、衆参両院議員面会所ではデモ参加者と民主、共産、社民の議員とのエールが熱く交わされました。

### 徹底審議と国民的大運動で必ず廃案へ決意

集会とデモでは国会内外の共同で必ず廃案にする決意が固められました。

発言者と参加者の思いは、すでに明らかになってきた戦争法案の本質を徹底審議を通じてさらに明らかにし、その内容を広げ、必ず廃案阻止すること、空前の国民的運動・全国的運動で安倍政権を包囲する、各分野での安倍政権の暴走ストップのたたかいを発展・合流させ安倍政権打倒の流れをつくらうというものです。

### 本会議で審議入りの参議院に抗議 緊急行動に500人 27日昼

7月27日13時から参議院本会議がひらかれ、戦争法案の審議に突入、内閣による趣旨説明と各党の質疑が行われました。

これに先立って12時から13時、参議院議員会館前から衆議院第2議員会館前にかけて、総がかり行動実行委員会のよびかけによる「とめよう戦争法案！参議院審議入り抗議7・27緊急抗議行動」が取り組まれました。駆けつけた500人と国会議員一体となってコールをあげ抗議しました。

### 29日も参議院特別委員会

7月29日（水）9時から17時まで参議院特別委員会が開催され、28日の日程に続き「総括的質

疑」がおこなわれます。総理大臣、関係大臣が出席し、NHK TVが取材に入って行われます。

質問者と日程は以下の通りです（予定）。

西田実仁議員（公明）9:00～10:14（74分）／片山虎之助議員（維新）10:14～11:20（66分）／小池晃議員（共産）11:20～11:54（34分）／休憩／小池晃（共産）13:00～13:32（32分）／松田公太議員（元気）13:32～14:06（34分）／和田政宗議員（次世代）14:06～14:40（34分）／水野賢一議員（無所属クラブ）14:40～15:14（34分）／吉田忠智議員（社民）15:14～15:48（34分）／山本太郎（生活）15:48～16:22（34分）／荒井広幸議員 16:22～16:56（34分）

## **当面の行動**

○連続木曜国会前行動 7月30日 18:30～19:30 参議院議員会館前を中心に

○参議院特別委員会傍聴

傍聴は、途中からでも可能です。憲法会議にご連絡ください。

## **参議院議員への働きかけ次つぎ**

参議院議員に対し、戦争法案即時撤回・廃案をもとめる議員要請、ファックスなどの働きかけが進められています。

### **全視協女性部がファックス**

全視協（全日本視覚障害者団体連絡協議会）女性部は「あらゆる戦争行為に反対し、『戦争法案』の即時撤回を求める意見書」を、24日から28日にかけてファックスで送っています。戦争法案に反対する4党以外の各政党所属の参議院議員を対象にしています。

### **新日本婦人の会・広島の会員が議員要請**

広島県の新日本婦人の会の小組（？）会員7人が、尾瀬散策後東京に立ち寄り、28日参議院議員の国会事務所を訪問、要請行動をおこないました。対象は地元選出議員（自民、民主各2人）と特別委員会理事。自民党議員の秘書は地元からの要請ということもあり、真顔で、厳粛な対応をしました。

## **自民県議が「ストップ・ザ安保法制」結成へ—広島**

### **中国新聞が報道**

28日付中国新聞が「広島の自民県議ら安保法案反対組織 庄原の小林氏・市議19人 市民署名集めへ」という注目すべき報道を行っています。同記事は同紙「中国総合」面に4段で掲載されています。記事の主な内容は以下のとおりです。

小林秀矩広島県議（自民党議連、庄原市）と庄原市市議の有志19人が安全保障関連法案の反対を訴える組織「ストップ・ザ安保法制」（仮称）を31日に設立する。庄原市議会が6月30日、安保法案に反対する意見書を可決したことを受け、考えを同じくする小林県議が堀井秀昭市議会議長を通じ、市議20人全員に呼びかけ、公明党市議を除く19人の市議が賛同したものです。

準備中の趣意書には、歴代政権が憲法上許されないとしてきた集団的自衛権の行使を一内閣の解釈で覆そうとする行為は立憲主義、民主主義に反し、容認できないこと、後世に責任を持つべき課題であり、政治に関わるものとして政府、国会に地方の思いを伝えること、などを骨子とすることを紹介しています。

「会」設立とともに、市民署名の開始、8月10日には市民集会の開催、市民も参加できる組織づくりに取り組み、同法が成立した場合の訴訟も視野に入れるなどとしています。